仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

令和7年度第1号(通算第90号)
令和7年4月30日発行-年４回発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

「噂の女子会でモヤモヤ解消～みんなで見つけよう！理想のワークスタイル！～」を開催しました

▶地方振興部

2月9日、仙台市青葉区のCROSS B PLUSを会場に、女子大学生を対象としたイベント「噂の女子会でモヤモヤ解消～みんなで見つけよう！理想のワークスタイル！～」を開催しました。

このイベントは、若い女性の県外流出抑制のため女子大学生6名で結成した「女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクトチーム」が「できるだけ気軽に参加してもらえるイベントにしたい」、「プロジェクトチームメンバーとして体験した働く女性との対話を多くの学生にも体験してほしい」という想いから、企画・運営したもので、プロジェクトチームメンバーを含め38名の学生が参加しました。

参加者からは、「これまで参加した就活イベントの中でも一番カジュアルで話しやすかった」、「企業の話を一方的に聞くだけでなく、質問する時間があり、聞きたいことを深掘りできた」という感想があり、満足度の高いイベントとなりました。

企業の魅力紹介

噂の女子座談会

Native of MIYAKURO～Nine marché～開催！

▶地方振興部

3月1日、2日に9市町村（※）の地場産品を一同に集めた、物産展「Native of MIYAKURO～Nine marché～（ネイティブオブミヤクロ ～ナインマルシェ～）」をイオンモール新利府で開催しました。

宮城黒川地域地場産業振興協議会が主催する当物産展では、黒川地域で生産されたはちみつや松島湾で獲れた昆布・海苔などの海産物が販売されました。当所では、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台部会としてブースを設置し、管内観光PRの他、各店舗でお買い物された方への抽選会や、むすび丸とのじゃんけん大会を開催しました。当日は、ゆるキャラが登場し物産展を盛り上げてくれました！

※塩竈市、多賀城市、富谷市、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村
※日程の都合により利府町の出店無し

物産展を巡るむすび丸

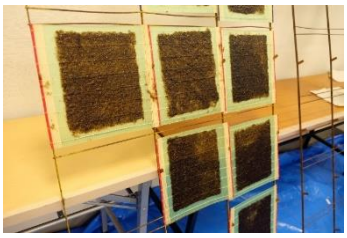
じゃんけん大会の様子

みやぎブルーカーボンスクール2025が開催されました！
▶水産漁港部

3月16日に仙台うみの杜水族館で、県内の小・中学生とその家族を対象とした「みやぎブルーカーボンスクール2025（主催：宮城県等）」が開催されました。
「ブルーカーボン」とは、海藻などが光合成により二酸化炭素を吸収し、その後、海の中に固定された炭素のことを言います。近年、地球温暖化対策として注目されており、今回は海藻の中でも「ノリ」をテーマとして開催され、計29名の親子が参加しました。
当日は、宮城県漁業士会南部支部所属のノリ漁師らが講師となり、ブルーカーボンと地球温暖化の関係や、ノリが各家庭に届くまでの生産工程を紹介しました。参加した子供たちは積極的に質問しながら、海藻とブルーカーボンの関係や、環境保全の大切さについて理解を深めていました。
講演後、参加者はノリすきやノリ焼きを体験しました。実際に自分で乾ノリを焼き、食べながら、色や香り、味の変化を感じていました。

漁業士による講演の様子

ノリすき体験の様子


ノリすき体験の様子

ノリ焼き体験の様子

大衡小学校で原木しいたけの植菌体験が開催されました！
▶林業振興部

大衡村内で原木しいたけ生産を営む文屋裕男さんは、2011年に発生した原発事故により約65,000本のホダ木※1が全て使用できなくなるなどの、様々な困難を乗り越えながら生産を続け、間もなく50年となります。
子どもたちに地元産品への理解を深めてほしいという思いから、令和4年から毎年、大衡小学校の3年生児童を対象として、文屋さんが課外学習の先生となり、原木しいたけの植菌※2体験を行っています。今年も3月18日に実施され、61名の児童が文屋さんの指導を受けながら、種駒を原木に打ち込む作業を体験しました。体験した児童からは、「楽しかった」「しいたけが生えてくるのが楽しみ」といった声も聞かれ、原木しいたけの栽培に対して関心が深まったことがうかがえました。
今回の体験で植菌したホダ木は、校内の林で児童と一緒に管理を行い、しいたけが収穫できるまでの2年間を通して、しいたけ栽培の一連の流れを体験してもらいます。
林業振興部では引き続き、原木しいたけをはじめとした特用林産物生産の振興に向け、生産者等の活動を支援してまいります。

※1…原木（丸太）にしいたけの菌を植えた後のもの
※2…原木に菌を植えること

植菌作業を行う児童

栽培の説明を行う文屋さん

岩地蔵揚水機場3号機ポンプの整備工事が完了しました！
▶農業農村整備部

亘理町と山元町には、両町にまたがる広大な農地に農業用水を送り届けるための「岩地蔵幹線用水路」と呼ばれる約15.6kmの水路があり、地域の農業基盤を支える重要な役割を果たしています。この岩地蔵幹線用水路には、阿武隈川からの取水口にある水門設備や、水を汲み上げるためのポンプが設置されている岩地蔵揚水機場がありますが、これらは造成から50年以上が経過しており、経年劣化に伴う機能低下が懸念されていました。そのため、水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業）により令和5年度から施設の機能保全対策を実施しています。

岩地蔵揚水機場にあるポンプ口径1m～1.1mの1号機～3号機のうち、令和6年度は3号機ポンプの部品交換等を実施しており、3月に整備が完了しました。これにより施設の機能回復が図られ、今後効果を十分に発揮することが期待されます。

農業農村整備部では、引き続き水利施設の機能保全対策を推進してまいります。

3号機ポンプ整備前（ポンプ内部の様子）

3号機ポンプ整備後

SNS
【公式】宮城県仙台地方振興事務所
Instagram・Facebook

観光やイベント
食情報を発信中！⇒

@MIYAGI_SENDAITISIN

仙台大観音（仙台市）

苺カフェ紹介

皆さんの投稿をリポスト！
＃旅する仙台地域